

子どもたちに
最新のICT教育を！



中島 真弓
議員

問 屋内子ども遊び場キッズピアあしがが内の子ども映像メディアアートブースにおけるICT体験について、今後の展開を聞きたい。

健康福祉部長 学習指導要領の改訂により2020年度からプログラミング教育が必修となるが、それに先駆けて同施設ではプログラミング教室を行うなど、子どもたちが遊びながらコンピュータの仕組みを習得し、プログラミングの楽しさを体験できている。今後も継続して事業を展開していきたい。



▲子ども映像メディアアートブースで
行われたプログラミングのワークショップ

◆ひとり親家庭への支援強化

問 ひとり親家庭の自立支援として、子育てや生活、就労、経済的な支援の取り組みが重要であるが、本市における支援の現状を聞きたい。

健康福祉部長 保育所等への優先的入所をはじめ、自立支援教育訓練給付金事業やひとり親家庭医療費助成などさまざまな施策を実施している。ひとり親家庭の抱える問題は多様で課題が複雑化しているため、その不安解消や自立促進に向けた総合的な支援を引き続き推進していく。

ICT化の推進に
ついて問う！



荻原 久雄
議員

問 本市においてもICTに精通したCIO補佐官を配置すべきと考えるが所見を聞きたい。

総合政策部長 本市では、ICTの専門知識を発揮してもらうため、民間のIT企業で実務経験がある職員を情報管理課に配属してきた。CIO補佐官については、一部の自治体で外部から招いている例も聞いているため、先進事例を参考に研究していく。



◆老朽化した公共施設

問 公共施設再編計画を策定することのことであるが、全体のスケジュールを聞きたい。

総合政策部長 今後の本市の公共施設のあり方について共通認識を持つため、各施設所管課を対象とした説明会を行った後、各課から示された再編案を調整する。また、各施設の概要や地域別の立地状況、今後の人口や財政の見通し等の課題を整理するほか、市民アンケートの実施も検討している。再編計画については、平成31年度末の策定を目標に取り組んでいきたい。

国道50号沿線地域に
道の駅を！



杉田 光
議員

問 本市をさらに輝かせるためには国道50号沿線地域の活性化こそが急務であると強く考える。道の駅はその起爆剤であり、まちづくりの新たな拠点になり得ると考えるが所見を聞きたい。

都市建設部長 道の駅は本市固有の資源を生かした魅力を発信するだけでなく、さまざまな機能を付加して地域の拠点となるような施設にする必要がある。今後、最新情報を注視し、国県の指導や助言をいただいで調査研究をしていきたい。

◆観光誘客

問 あしかがフラワーパーク駅の開業により、観光面での盛り上がりが見込みに期待される。平成31年のアフターデステイネーションキャンペーン期間中に、同駅前広場で観光イベントを開催すべきと考えるが所見を聞きたい。

産業観光部長 警察と協議をした結果、ことしは観光客の安全を第一に考え駅前広場でのイベントは行わなかったが、平成31年度のアフターデステイネーションキャンペーンでは物販や飲食等のイベントの実施を前向きに検討していく。



▲あしかがフラワーパーク駅の駅前広場